

第二中学校区の授業研究

〔第二中学校，杉の入小学校〕

～校内研究で取り組んでいること～

第二中学校区では、学び合う児童生徒を育成するために以下の点に取り組んでいます。

・「聴き合う」ことのできる児童生徒・ジャンプ課題の設定

児童生徒の人間関係づくりだけではなく、学年部会や教科部会を効果的に機能させ、協働的な教員集団となるよう研修に努めています。

1. 授業研究について



宗教の分布についてグラフや地図から読み取るという共有の課題に対して、4人グループでの学習をしています。授業者が準備した提示資料が学習意欲を高めました。



ジャンプの課題として企業が現地に出店するときどんな配慮をしているかを考える学習。様々な資料を活用させながら、宗教が人々の生活に溶け込んでいることに気付かせました。

2. 研究協議会について



生徒と同じ4人組で授業のリフレクションを行いました。生徒たちの学びの変容について名前を挙げて振り返りを行いました。よりよい授業を求めて、熱心な話し合いとなりました。



「学びの共同体」の提唱者である佐藤学先生を講師に迎えての講話が行われました。提案授業を俎上にした講義を通して、多くの参加者が学びの共同体について理解を深めました。

手探りで進めてきた「学びの共同体」による授業実践でしたが、提案授業を通して改めて「共有の課題」の意味や「ジャンプ課題」の意味を確認できました。よりよい「ジャンプの課題」は生徒の学びを活性化させるだけではなく、参観した私たち教師の学びをも活性化させるものであることを学びました。

今回の提案授業を通して「ジャンプの課題」をつくるためには、一人のアイデアだけでは難しく、チームとしての教員の力が不可欠であることも確認できました。